

第 22 回 BC 州日本語弁論大会  
2010 年 3 月 6 日 (土)  
優秀作品集

BC 州日本語弁論大会実行委員会

この作品集は、参加者の原稿を元に BC 州日本語弁論大会実行委員会が編集したものである。

## 第 22 回 B C 州 日本語弁論大会

日時：2010年3月6日 土曜日 午前10時00分

場所：SFU ハルバーンセンター

コーディネーター：Rebecca Chau (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

Noriko Omae (SFU/サイモンフレーザー大学)

司会者：Mark Wisniewski (Centre for Intercultural Communication, UBC)

審査員：Christy Coulthard (Rockridge Secondary)

Susan Kimura (West Point Grey Academy)

Yuko Nakamoto (JALTA)

Masa Matsubara (Kiyukai)

Sachiko Renovich (Burnaby Mountain Secondary)

Yoko Shimosaka (Global Partners Institute)

Hideki Ito (Consul General of Japan in Vancouver)

Hiroyuki Matsuoka (Konwakai)

Kimiaki Shinno (SFU)

Akemi Takei (Langara College)

Kazuko Trudel (UBC)

出場者：

### 【高校 初級】

- |                   |                                |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. Christina Bae  | 私の特別な思い出 My Special Memory     |
| 2. Irene Choi     | 私の好きな楽器 My Favorite Instrument |
| 3. Moo-Kyung Choi | サンドイッチ Sandwich                |
| 4. Kimberly Kim   | 私のしょうらい My Future              |
| 5. Ashley Loo     | わたしとほんごのであい How I Met Japanese |
| 6. Kylie Loo      | 私の宝物 My Treasure               |
| 7. Bo Ra Park     | ちいさい しあわせ Small Happiness      |

### 【高校 中級】

- |                |  |
|----------------|--|
| 1. Jenna Choi  | 私のむすめ My Daughter                        |
| 2. Gina Kim    | メールと手紙 Email and Letters                 |
| 3. Ji Hyun Kim | 進路への道 Path towards Life's Route          |
| 4. Hannah Park | カナダでみつけた私 New Part of Me Found in Canada |
| 5. Ashley Wang | 両親からのプレゼント A Present from My Parents     |
| 6. Cindy Yuan  | 寄宿生活 Dormitory Lifestyle                 |

### 【高校 オープン】

- |                  |   |
|------------------|---|
| 1. John Hamanaka | 剣道への感謝 Appreciation Of Kendo              |
| 2. Faiza Yahya   | カナダの宝物：オリンピック Canada's Treasure: Olympics |
| 3. Aileen Yang   | 嵐 The Storm                               |

### 【大学・一般 初級】

- |                     |                                      |
|---------------------|--------------------------------------|
| 1. Tian Yi Dong     | 小さな人物 Small People                   |
| 2. Kay Kim          | どうせいでについて Cohabiting before Marriage |
| 3. Jiwon Lee        | 河童巻きからの教訓 A Learning from Kappa Maki |
| 4. Michelle Milburn | 小さいが大事なこと Small but Important Things |
| 5. Carole Wang      | にくしみは、何もいやさない Hate does not Heal     |

### 【大学・一般 中級】

- |                      |                                    |
|----------------------|------------------------------------|
| 1. Veronica Chan     | 大切なものの The Most Important Thing... |
| 2. Yu Chi Chou       | 終点 Destination                     |
| 3. Andrew Livingston | 山梨の良さ The Best of Yamanashi        |
| 4. Carmen Lum        | 日本人とは何か? Who is Japanese?          |
| 5. Tony Ni           | 感謝の言葉 Words of Gratitude           |
| 6. Erin Paakkonen    | アイドルの定義 Definition of Idol         |
| 7. Anais Pang        | バンクーバーの日本式居酒屋 Izakaya in Vancouver |

### 【大学・一般 上級】

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1. Anna Kim         | 大人になりながら思うこと、今を生きること<br>What I Think as I Become an Adult, Live Now   |
| 2. Eun-Seon Kim     | 心が通じ合う喜び The Joy of Communication                                     |
| 3. Kelly Liang      | 「日本語が上手ですね！」 “Your Japanese is Very Good!”                            |
| 4. Elizabeth Sun    | ソーシャルネットワーキング」について Social Networking Issues                           |
| 5. Kyle Vandersteen | 坐禅から心と体と頭のバランスへ<br>From Meditation to Balance of Heart, Body and Mind |

### 【大学・一般 オープン】

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1. Jaeyeon Choi   | グローバル市民 Global Citizens |
| 2. Stephen Goobie | 相撲美 Sumo as Art         |

## 入賞者

### 【高校部門】

|      |     |                |                 |
|------|-----|----------------|-----------------|
| 初級部門 | 第1位 | Moo-Kyung Choi | 「サンドイッチ」        |
|      | 第2位 | Kimberly Kim   | 「私のしようらい」       |
|      | 第3位 | Ashley Loo     | 「わたしとほんごのであい」   |
|      | 特別賞 | Christina Bae  | 「私の特別な思い出」      |
| 中級   | 第1位 | Hannah Park    | 「カナダでみつけた私」     |
|      | 第2位 | Jenna Choi     | 「私のむすめ」         |
|      | 第3位 | Gina Kim       | 「メールと手紙」        |
|      | 特別賞 | Ashley Wang    | 「両親からのプレゼント」    |
| オープン | 第1位 | John Hamanaka  | 「剣道への感謝」        |
|      | 第2位 | Aileen Yang    | 「嵐」             |
|      | 第3位 | Faiza Yahya    | 「カナダの宝物：オリンピック」 |

### 【大学・一般部門】

|      |     |                  |                     |
|------|-----|------------------|---------------------|
| 初級   | 第1位 | Michelle Milburn | 「小さいが大事なこと」         |
|      | 第2位 | Carole Wang      | 「にくしみは、何もいやさない」     |
|      | 第3位 | Tian Yi Dong     | 「小さな人物」             |
|      | 特別賞 | Jiwon Lee        | 「河童巻きからの教訓」         |
| 中級   | 第1位 | Carmen Lum       | 「日本人とは何か？」          |
|      | 第2位 | Erin Paakkonen   | 「アイドルの定義」           |
|      | 第3位 | Yu Chi Chou      | 「終点」                |
|      | 特別賞 | Kyle Vandersteen | 「ソーシャルネットワーキング」について |
| 上級   | 第1位 | Kelly Liang      | 「日本語が上手ですね！」        |
|      | 第2位 | Eun-Seon Kim     | 「心が通じ合う喜び」          |
|      | 第3位 | Elizabeth Sun    | 「坐禅から心と体と頭のバランスへ」   |
|      | 特別賞 | Stephen Goobie   | 「相撲美」               |
| オープン | 第1位 | Jaeyeon Choi     | 「グローバル市民」           |
|      | 第2位 |                  |                     |

## サンドイッチ

Moo-Kyung Choi

私の学校には プロジェクトシェアというクラブがあります。そのクラブは まづしい人をたすけるためにいろいろなことをするクラブです。そのクラブでは ホームレスの人のために サンドイッチをつくって くばるかつどうをしています。私は ボランティアがしたかったので さんかしました。はじめに、私たちは サンドイッチをつくるおかねをあつめるために まちの人のぐるまをあらって おかねを あつめました。すこしたいへんでしたが、がんばりました。サンドイッチをつくったあと、たべものとふるいふくをもって ダウンタウンの ヘイスティングストリートに 行きました。そこは せかいがぜんぜん ちがいました。みんな ふるくてわるいふくを きていました。そして、とてもさむいひでしたが、うすくて みじかいふくをきていました。男の人も女の人もわかる人もおとしよりも いました。私は こわくて ちかくに行けませんでした。でも、私が サンドイッチをあげたとき、その人たちは わらって ありがとうございました。私は すこしこわくなりました。でも、そこにいた ホームレスの男の人が 私に「私たちがこわい？」とききました。私は びっくりして「はい、ちょっと」と ほんとうのことを言つてしましました。私はその人が おこったかもしれないと しんぱいしました。その人は「すなおな こどもだ！」といいました。そしてみんなが 大きいこえでわらいました。その人は サンドイッチを食べたあと、自分のことを話しました。かいしやがつぶれて ホームレスになったと 言っていました。おじさんは わらっていましたが、ほんとうは かなしいのかもしれないと思いました。その人たちと たくさんはなして、私たちのしゃかいいにはいろいろなもんだいがあることをしりました。もちろん、ホームレスの人を ぜんぶ たすけることは できませんが、私たちが かえられることもあると 思います。いちばんたいせつなことは、私たちの かんがえかたを かえることです。ホームレスの人たちは まづしいですが、私たちと おなじ にんげんなのです。りゆうもないのに その人たちを 私たちがうと思つたら、なにもかわりません。私もはじめは こわかつたですが、今はちがいます。ホームレスの人たちは 私たちより わるいかんきょうに すんでいますが、わらっているのです。私たちが かんがえかたを かえたら、私たちのしゃかいいは もっとよくなると思います。みなさん、天気がいい日に ぜひウエストバンクーバーの カーワシに きてください！

## 私のしょうらい

Kimberly Kim

あるひ、きょうしつの 入り口で リサイクリングにきた しょうがいのあるせいとにあいました。私はほかの人にするように「ハイ」とあいさつしました。その子は なにかぶつぶつ言いながら、手をふってくれました。私はなんだか うれしかったです。でも、私がせきにつくと うしろから何人かのせいとたちが、そのしょうがいしゃのまねをして わらっていました。それを聞いて ふゆかいになりました。「何でわらっているの？」「しょうがいしゃだから？」「話がふつうにできないから？」「どうして ああいう人は、いつもだれかに ばかにされるの？」 しょうがいをもつ人たちには できないことがいっぱいあるけど、学校やほかの人のために できることも たくさんしています。「バイクセール」とか「リサイクリング」とかです。

じつは、小学校のとき、私はしょうがいしゃの友達がいました。毎日ほかのせいとに ばかにされてなっていました。私も かの女をよくしらないときは 友達とわらったこともあります。でも、あるひ、その子が一人でないているのを見たので 声をかけました。その子は「みんなにわらわれて かなしくてたまらない。」と 言いました。それまであまりその子のことを 考えたことがありませんでした。いつも一人にして とてもわるかったと そのとき思いました。そこで なにげなく「友達になろう。」と 言いました。「ほんとうに？」と ふしぎそうにたずねました。でも、それから その女の子、アンバーと 毎日あそぶようになり いい友達になりました。

いつしょにいる時間がながくなって アンバーがとてもゆうきのある女の子だとしりました。ほかのせいとがいじめられて ないているのを見ると すぐそこに行って まもうとしました。自分がされて かなしかったからでしょう。また、アンバーは 二人の時はよくしゃべり とてもしんらいできる友達でした。

私は しょうらいのゆめとか しごとについて あまり考えたことがありませんでした。でも さいきん、私は まわりにいる しょうがいをもつ人のやくに たつしごとは どうだろうかと 考えはじめました。くすりのかいはつや しんりがくしゃなど どんなことができるか まだはつきりしません。とにかく しょうらい こういう人のやくに たつしごとを何かしたいと今は思っています。

## 私と日本語のであり

Ashley Loo

日本語に さいしょにであったのは、まだマレーシアにいた四年前の2006年でした。あにがすすめた日本のドラマ「はなよりだんご」で でした。はじめて にほんごを ききました。「あぶない」「やばい」「しまった」。なんだか わかりませんでしたが にほんごがすきになりました。それから たくさん日本のドラマを インターネットでみました。カナダに いじゅうしてから 私は 日本語を はなせるようになりたかったから、がつこうで、日本語をとりました。クラスで 日本のぎょうじやぶんかをべんきょうしました。日本には、いろいろなおもしろいものがあるから、日本にいきたい とおもうようになりました。二年前クラスで、SMAPの「世界にひとつだけの花」のうたをならってから 日本のおんがくも すきになりました。「ひとりひとりちがうのにそのなかで、いちばんになりましたがる」とでもいいかと思いました。それから、まいにち日本のおんがくをききました。日本語が もつとすきになりました。もっとならいたかったから、 アニメも みはじめました。ドラマをみたり おんがくをきいたりするうちに日本語が じょうたつしてきました。

私の好きなミュージシャンに アクアタイムズ というバンドがいます。だいすきなうたは虹です。うたのなかに、ふかいいみがあります。「だいじょうぶだよう、みあげればもう、だいじょうぶほら、なないろのはし、やっとおなじそらのしたでわらえるね」。日本語のうたの詞はいみがふかくて、この詞も「なにかわるいことがあっても みあげれば、そこには ゆうだいな空 があり いいこともきっとあるよ」と私を はげましてくれるきがします。日本語はいまや 私にとって とても大きいそんざいです。毎日見たり きいたり はなしたり ゲームをしたりしているので この四年で日本語は私のいちぶになってきました。

まだこうこう一年生なので、しょうらいのことはわかりません。できれば日本語をつかえるしごとにつきたいと思います。

## カナダで見つけた私

Hannah Park

「私、ばかじやなかつたんだ！」カナダで、はじめての数学のせいせきひょうをみて、びっくりしました。私は、韓国では、まじめな学生でしたが、数学だけはいつもCでした。どんなじゅくにいっても、なにもかわりませんでした。でもカナダに来てから、とつぜん数学がとくいになりました。Cから99%Aまであがったのです。りょうしんも私もとてもおどろきました。だれも予想することができませんでした。とつぜんてんさいになったかと思いました。どうして数学がよくなつたんだろうとふしげでした。

アジアの学生は、国際数学大会でいつも高いじゅんいをたもっています。それにくらべてカナダのレベルはひくくて、私がいいてんをとれたのかとも思いました。でも、私はそれだけじやないと思います。どういうわけか、むずかしくてつまらなかつた数学がやさしくておもしろいかもくになつたのです。それはなぜでしょうか。

韓国の数学のおしえかたと韓国の社会はにているきがします。韓国の社会では、めざすものがひとつで、そこにとうたつした人がすばらしいというかんがえです。数学も、はやくこたえにとうたつするようにくんれんされます。このような社会で私はそだつたため、とくのに時間がかかる私は数学がだめだと思っていました。でも、カナダの数学はちがいました。数学は「ひとつのときかたをあんきするかもくではなくて、げんりをりかいすることだ」とおしえられたのです。おそらく、自分のときかたをみつけることができるのです。だから、だんだんおもしろくなりました。かいとうまでのかいで、いろいろなほうほうを自分でためすことができます。そのせいかどうかわかりませんが、私のライフ・スタイルもかわりました。自由で、じゅうなんなかんがえをしたり、うけいれたりするようになりました。また、自信もついてきました。

私はカナダにきて今までしらなかつた私をはっけんしました。カナダにこなかつたら、きっとそういう自分を一生しらないですごしたでしょう。もちろん、韓国がそだててくれた私もだいじにしながら、こんごどんな自分をみつけられるかとてもたのしみです。

## 私のむすめ

Jenna Choi

私には、八才のむすめがいます。笑った時の白いはと、黒いはだがとても美しい子どもです。名前は、Miyan。アフリカに住んでいる私のむすめです。私は Miyan を、1年前写真ではじめて見ました。写真の Miyan のおなかは、まるく大きくふくらんでいました。これは、食べ物がなくて、えいようがかたよってしまうからです。でも Miyan は、しあわせそうに笑っていました。

私は「WORLD VISION」というボランティアの団体を通して、Miyan を助けています。「WORLD VISION」は、世界各国の助けがいる子どもと、その子どもを助ける人たちをつなげてくれる、大きい団体です。私が「WORLD VISION」を知ったきっかけは、私の家庭教師の先生でした。「WORLD VISION」で五年間ボランティアをしている先生が、「人間は、おたがいに、助けあいながらくらさなければならない。まずしい人も、ゆうふくな人も、みんながしあわせになるけんりがあるんだよ。」と、話してくれました。

「WORLD VISION」で Miyan を手伝う前は、私のまわりにあたり前にある食べ物、きれいな水、服、教育などをぜんぶ当然だと思っていたが、今はちがいます。「私が当然だと思うことが、だれかにはぜいたくかもしれない」と、気づいたのです。私は「WORLD VISION」をはじめてから、お金を大切に使うようになりました。私は一月に一回、Miyan に手紙と十ドルをおくっています。この十ドルで Miyan は家族の食べ物や水を買ったり、本やぶんぽうぐを買ったりできます。私が一分で全部かんたんに使える十ドルで、Miyan とその家族が、一か月間くらせるのだと思うと、お金をむだに使えなくなりました。

Miyan が私におくってくれた手紙に「私は一番しあわせな人だ」と書いてありました。Miyan は、自分は食べ物もあるし、家族もいるし、ゆめもあるし、とてもしあわせだと言っていました。この手紙を読んだ時、生活にふまんがある自分がとてもはずかしくなりました。「WORLD VISION」と Miyan は、私に、お金ではけつして買えない大切なものをくれました。

## メールと手紙

Gina Kim

一週間前に韓国に住んでいる友達からメールがきました。それと同時に家の電話がなりました。これは自動受信機能で、メールがきたことを電話で知らせて、そのメールのメッセージを機械が声で伝えます。ですから、インターネットでメールボックスを毎日チェックするひとつはありません。受話器から機械の女の人の声が聞こえました。「二千十年一月十日、三時五十分にバックさんからメールがとどきました。」世界はすごく便利になったなと思うことが多いですが、電話でそのメッセージを聞いたときはちょっとおどろきました。

最近、すべての情報が電子化されていろいろなことが変わっています。電子辞書、電子メール、電子の誕生日カードや本などがよく見られますが、昔からある紙の辞書や手紙はへっているそうです。もちろんコンピュータで作文を書いたり本を読んだりすることは、手間も時間もあまりかかりないのでとても便利です。でも、便利なことがいつもいいと言うわけではないと思います。たとえば私の妹は学校が終わった後すぐ部屋に入って晚ごはんまでインターネットのゲームをして母におこられています。電子化して便利になりましたが、人ととのコミュニケーションが少なくなってしまったのです。

友達のメールを読んだ時も同じように感じます。メールはいつも同じ大きさの文字で同じフォントです。相手の気持ちがよくわからないと思って、すぐコンピュータをけてしまいます。そして、急に、数年前にもらった大切な手紙を思い出しました。カナダに来る時、スーツケースに入れないので、手で持ってきた大切な物です。今でも時々読んでいます。その中には友達が書いた手紙や絵、小学生の時にいつしょに集めた木の葉などが入っていて、その時の思い出がすぐにうかびます。手紙の中の木の葉はもうなくなっているし、絵や文字もぼやけていますが、メールより相手の気持ちがよくわかります。つまらないメールより手紙のほうが人間的なのではないでしょうか。

インターネットの便利な部分を適当に利用しながら、人ととのコミュニケーションを大切にして、人間的な気持ちをわすれてはいけないと思います。

## 剣道への感謝

John Hamnaka

僕は今年の一月で17歳になりました。今の僕が一番夢中になっていることが剣道です。剣道は日本の伝統ある武道のひとつであり、僕の人生に欠かせないものになりました。

僕が剣道を始めたのは9年前、8歳の時です。その当時、学校では友達がホッケーでもらったトロフィーをよく見せびらかしに持つて来ました。うれしそうに見せる友達がとてもうらやましく、僕は父に「僕もトロフィーが欲しい」と言いました。父は笑いながら、「それなら小柄なお前でもトロフィーが取れるチャンスのある剣道はどうか」と、すすめてくれました。実は父も子供の頃から日本で剣道をしていて、バンクーバーでも指導していました。父自身も自分の子供に剣道をさせたいという気持ちはあったようです。父の思いと僕のトロフィーが欲しいという願いが一致して、僕は剣道を始めることになりました。僕の通っていた道場はその当時まだ出来たばかりで、子供の生徒は僕たった一人でした。時には子供の僕一人に、父を含めて先生が三人という日もあり、今考えたら、ずいぶん恵まれていたと思います。僕は一生懸命稽古をしましたが、体が小さく足も遅かったので、本当にこれでトロフィーが取れるか、その時はまだ分かりませんでした。

剣道を始めて半年、先生から試合があるので初心者の部で出てみなさいと言われました。結果は1回戦負けでした。しかし、その大会で初心者の部に出た人はたった4人だったため、僕は1回戦で負けておきながら3位になり、トロフィーをもらうことができました。念願のトロフィーをこんな形でもらうとは思いませんでしたが、本当にうれしかったです。その後すぐ、2歳上の姉も剣道を始めました。

それから1年後、僕は再び初心者の部で試合に出る事になり、今度は姉も一緒でした。そして、僕たち二人は決勝で姉弟対決となりました。結果は、姉が勝って優勝、僕は準優勝で、その時のことを今でもはっきりと憶えています。とても悔しかったけど、なぜかうれしかったこと。両親がとても喜んでくれたこと。この初めての経験が僕の剣道の原動力になったとも思います。

その後、僕は本格的に防具を付け、練習を始めました。初めは打たれて痛くてたまりませんでしたが、今では痛くもかゆくもありません。

その2年後、ある試合で僕と姉は、準決勝で再び姉弟対決となりました。稽古では姉が必ずと言っていいほど勝っていましたので、正直僕はドキドキでした。両親はビデオを回しながら、どちらを応援して良いか分からず黙っていました。そして試合が始まり、結果は僕の一本勝ちでした。僕はその勢いでそのまま優勝し、生涯忘れられない日となりました。その時のトロフィーはひときわ大きく感じました。

こうして僕はその後も一生懸命稽古を続け、現在は二段になりました。そして、あれほど欲しかったトロフィーは現在二十を超えるました。

剣道を始めて9年、僕はその他にもたくさんものを得ました。剣道で知り合った人たち、剣道で学んだ礼儀、上下関係、そして、いつでもどんな時でも全力でがんばれる強い心です。

そんな僕には大きな目標があります。剣道のカナダ代表選手になり、世界選手権に出場することです。

姉は昨年、一足先にチームカナダに選ばれ、剣道世界選手権で個人ベスト8に入りました。僕も姉に続きたいと思います。

僕の目標はものすごく大きく大変なことですが、何が何でもかなえたいと思います。希望を持ってがんばれば願いがかなうということを剣道は教えてくれました。

トロフィー欲しさに始めた剣道ですが、僕は、僕の人生に大きな目標とたくさんのものを与えてくれた剣道に心から感謝したいと思っています。

## 嵐

Aileen Yang

皆様は嵐というアイドルグループをご存知でしょうか。嵐はジャニーズ事務所に所属している今の日本でもっとも人気があるグループです。嵐のメンバーの五人はそれぞれ日本の芸能界の各フィールドで大活躍しています。その五人の特徴と深い絆は私を強く引きつけていて、彼らはもはやファンである私の心の中に虹色の嵐を巻き起こしているのでしょうか。

1999年にデビューした嵐は音楽のほかにもドラマや映画やバラエティ番組などで活躍しているので、その幅広さに私は最初唖然としました。日本のテレビで見られない日はめったにないという大人気の嵐はグループとしての登場のときはもちろん、メンバーそれぞれソロで登場するとき、より五人の魅力と能力を拡大して見れます。最年少の松本潤さんはとても人気が高いドラマや映画などに出演していて、大好評をもらっています。2008年の24時間テレビのSPドラマ「みゅうの足、パパにあげる」を何度見ても、私は松本さんの迫真な演技に感動し、涙を止めても止まりませんでした。二宮和也さんが出演した主な作品の中で、特に青春ドラマや学園ドラマが多くて、私はそれを通して、日本の高校生活を詳しく知るようになりました。さらに、二宮さんが主演したTBS局の感動ドラマシリーズを見た後、「同じ世界に住んでいるのに、みんな幸せじゃないね」と改めて感じました。不幸に生きている人々はどうやって自ら力を出したのか、どうやって戦ってここまで生きてきたのか、どうやって夢に向かって走り出したのか。こんなことやあんなことなど、ドラマを見ているうちに深く考えさせられました。現代の社会は完璧ではない、と。全力で戦わないと幸せにはなれない、と。嵐のリーダーである大野智さんが初主演したドラマ「魔王」も、社会の不足を映る作品です。完璧な復讐劇を整える弁護士とその復讐劇に関わるすべての事件を解決しようとする刑事の頭脳戦を描くストーリーなので、ハラハラドキドキしながら見ていました。嵐の陰のリーダーである櫻井翔さんは芸能界で活躍しているだけではなく、日本テレビ系の「NEWS ZERO」のキャスターとして、より人気を集めています。以前あまりニュースに興味を持っていなかった私は、「NEWS ZERO」を見て、だんだんニュースを見るのを好きになり始めて、世界の各地で起きているいろいろなことを知るようになりました。バラエティ番組で活躍している相葉雅紀さんは実験をするのが大好きらしく、番組でいざ実験コーナーが始まると、テンションが高くなってしまいます。一つ一つの実験に関わる科学の分野が違うので、科学が大好きな私はいろいろ考えさせられながら楽しく見ていました。さらに、まだ勉強していない自然現象もたくさん知ることができて、毎回予想以上の知識を手に入れるので、逆に学校の勉強に役立ちます。

毎日五つの色に囲まれている私は日本に一度も行ったことがないのに、嵐のおかげでいつの間にか日本語を話せるようになっただけじゃなく、日本の文化や習慣、特徴や食生活なども詳しく知るようになってきました。私の日本語も徐々に上手になってきて、今はもう大学二年生のレベルで日本語を勉強しています。私の五年の高校生活を貫いた嵐の魅力に満ちた日々は、いつまでも忘れられないでしょう。

## カナダの宝物:オリンピック

Faiza Yahya

私はオリンピックを楽しみにしていました。このイベントはカナダのプライドになりました。そして、このイベントはたくさんのカナダ人をひとつにしました。みんな一生懸命にカナダを応援しました。でも、ある人はオリンピックにお金を使いすぎたと思います。しかし、私にとってオリンピックはカナダの誇りで、カナダの宝物だと思います。

バンクーバー二千十年の聖火リレーは十月三十一日にブリティッシュ・コロンビアのビクトリアから始まりました。そこから、聖火がカナダ国内でいろいろな州に回りました。聖火は一番北にあるヌナブット準州のアラートというところにも行きました。だいたい一万二千人が聖火を持って走りました。九十パーセントのカナダ人は聖火を見る機会がありました。聖火は二月十二日にバンクーバーへ戻りました。

オリンピックは、チームワークもいました。私の学校の友達はオリンピックのために、応急手当や、合唱隊などの活動に参加していました。一生懸命に頑張って、練習していました。だいたい放課後二、三時間の練習をしました。生徒たちはボランティアをしたり、いろいろな物事を手伝ったりしていたから、オリンピックが完璧になりました。

バンクーバーやリッチモンドでは、インフラストラクチャーが改善されました。リッチモンドにできた新しいスカイトレインのカナダラインは私たちの行動手段を増やします。そして、大きくてすばらしいスピードスケートのリンクやたくさんの建物などもできました。バンクーバーとウィスラーでも新しい建物が建てられました。これらのプロジェクトは、経済を刺激します。

また、たくさんの人々がいろいろな国からカナダへ来ました。そして、ビジネスは増えています。カナダ人はオリンピックのジャケットや、手袋や、ぬいぐるみや、キーホルダーなどを買いました。オリンピックのおかげで、経済がかっぱつになりました。

私のアイドルはカナダのスピードスケートの選手のクレラ・ヒューズです。この人はとても勇氣があるから、イタリアで行われたトリノオリンピックで金メダルを取りました。最後まで一生懸命に頑張りました。だから、私の心は彼女に動かされました。そして、クレラは貧しい国々に寄付しました。このように援助できることはすばらしいことだと思います。そのうえ、クレラは冬季と夏季オリンピックで複数のメダルを取ったたった一人の選手です。だから、バンクーバーオリンピックの開会式で旗手を務めました。

カナダは今まで、自国開催のオリンピックで金メダルを取ったことがありませんでした。しかし、ついにバンクーバーオリンピックで金メダルを取ることができました。金メダルを取ったフリースタイルスキー男子モーグルのアレクサンドロ・ビロドーはカナダのヒーローになりました。それから、カナダはほかの種目でもたくさんのメダルを取ることができました。

私はオリンピックを楽しみにしていました。カナダ人はプライドを持つべきだと思います。そして、カナダはもっとすばらしい国になりました。人々がオリンピックでつながることができたからです。オリンピックはカナダの宝物です。

## 小さいが大事なこと

Michelle Milburn

皆さん、どんな人生を生きていきたいですか。私は独立したかった時、この問題が大事だと気がつきました。私が見つけた答えについて、お話したいと思います。

実家を出ると、色々と大変なことがありました。その前はいつも夢のようなことばかり考えていました。例えば、日本語を勉強することや、美術が上手になりたいことなどを考えました。けれども、それだけが大事ではないと気がつきました。

まず、私は家事が下手です。実家を出た後で大変だったことの一つは、料理です。ご飯は自分で炊けますが、他の料理は難しそうです。私の最近よく作るレシピはツナご飯です。ご飯の上にツナを置くだけの料理です。大学生にはぴったりですが、とてもつまらないです。次は車の維持です。私は父の車を借りています。そればかりか、オイルを替える時も、車屋へ車を持って行く人は父です。そして、一番大変なことは洗濯です。ある時、洗濯した後で全部のズボンを小さく感じることがありました。その時、私は太ってしまったと心配しました。けれども、新しいズボンを買いに行ったら、いつものように同じサイズがまた良く合いました。そこで、気がつきました。乾燥機のせいでズボンが全部縮んでしまっていたのです。日常のことは簡単ではありません。

また、ほとんどの大学生は楽しいことをして時間を過ごすのでしょう。けれども、私はそういうことを全くしません。喫茶店へ行ったり、買物をしたいと思わないのです。私は真面目なわけではありませんが、楽しく時間を過ごすことも苦手です。そこで、生活を良くするために、両親の手本を考えてみました。

私の父はとても実用的です。上手に儉約するので、いつも安心感があります。父は長い間、計画してお金を貯めたので、私と兄弟の授業料を払ってくれました。そのことから、私は夢のようなことばかりでなく、実用的なことも勉強したらいいと思いました。その時に、私は何も計画していなかったと気がつきました。

私の母は楽しく時間を過ごすことをよく知っています。母は社交ダンスが得意です。母の生活は、私のよりずっと楽しそうです。ダンスシューズがピカピカだし、スカートもふんわりとしていて、踊っている時の母は本当に華やかだと思います。人は私にミシェルのお母さんはとてもかっこいいと言いますが、私は自分がかっこいいと言われたことがないと気がつきました。そして、その理由を見つけました。母は友達と一緒にダンス・パーティーにでも行きますが、私は楽しいことをしてみようとしていませんでした。

その時、私の大事な問題、どんな人生を生きていきたいかの答えを両親から見つけました。禅では「人生に大事なことは日常のことだ」と言われています。両親の手本を考えた後で、学んだことはこれでした。一人一人の人生は違います。けれども、幸せな人生を生きるために、小さくて色々な日常のことはとても大事です。私は日常のことを大切にすることで、人生を豊かにすると自分に約束しました。

ここで、私のスピーチを終わります。どうもありがとうございました。

## にくしみは、何もいやさない

Carole Wang

日本についてかんがえるとき、私はすばらしい物や、ことや、人を思いうかべます。おいしい食べ物、おもしろいアニメやまんが、そして、やさしい人たち。でも、母のかんがえはちがいます。母は、私が日本にみりよくをかんじることが、しょうふくできません。

私のかぞくは中国けいです。りょうしんや、祖父母や、おじや、おばは、いつも私に言います。「せんそうのとき、日本が中国に何をしたか、知らないの？」私は、もちろん、知っています。すくなくとも、私のかぞくが知っているようなことは、私も知っています。れきしを知ることはたいせつです。

れきしは、私たちみんなをみちびいてくれます。人も国も、よい未来を作るために、かこからまなぶひつようがあります。私のかぞくは、「未来のために」ということが、分かっていません。

私のりょうしんや祖父母の世代の人たちは、日中せんそうについて、れいせいに話せないようです。そのせんそうがあったのは、60年いじょう前なのに、です。きずがまだなおっていないのでしょうか。それか、たんに、ひがいしやいしきで、がんこになっているだけなのでしょうか。にくしみは、何もいやさないので。

私は、どの国がわるかったか、と問うのは、あまりいみがないと思います。日本がいっぽうてきにわるかったのではないでしょう。どの国の人人が一番くるしんだか、と問うのも、いみがないと思います。日本人もくるしんだ、と私は思います。

せんごの日本は、くるしみからぜんしんした。でも、中国はいまだにくるしみとにくしみにひたっている。にくしみからは、いったい何が生まれるのでしょう。私は、にくしみはにくしみしか生み出さない、と思います。

私は、日本文化が好きですが、それは、ポップカルチャーだけではありません。でんとうてきな文化にもひかれます。そして、私は、そこにてつなぐを見いだします。

私が、日本文化が好きだ、と言うと、ひなんする中国けいの人がいます。私は、そんな人たちに言いたいです。50年や100年のことを言うのはおかしい、もっとれきしを長い目でみよう、そして、もっと前向きになろう、と。はんせいは、日本だけがすることではないだろう、と。

これは、父や母にも分かってもらいたいです。

## 小さな人物

Tian Yi Dong

私は小さな人物です。

二年前、家族と一緒に中国の小さな都市からカナダに移民しました。町で色々な肌の色の人を見たり、学校で様々な言葉を聞いたりして、私は新しい冒険が始まると思っていました。

しかし、大学に入って、ここは自分の想像よりもっと大きい世界だと気付きました。バンクーバーで頭がいい、お金持ちや成功した有名な移民たちの話しを聞いて、私は自分がなんて弱くて、小さくて、何もできないかなあと思っています。また、学校や社会のことがよく分からなかつたし、英語が上手じゃなかつたし、ほかの人が冷たい時がありました。ここに友だちもあまりいないし、家族もカナダのことを知らないし、将来が見えなくなつてしましました。もともと自分に自信があった私がだんだん落ち込むようになりました。

それから、二年生になって、私は家と学校だけでの生活にだんだん慣れました。毎朝、電車の駅で新聞を配るおじさんから新聞をもらって、学校で勉強します。そして、家に帰って、遅くまで本を読みます。私は忙しかったら、落ち込んでいることや将来の悩みが忘れられるだろうと思っていました。

あるいつもと同じつまらない朝、雨がたくさん降っていて、駅はとても込んでいました。風も強く吹いて、冷たい雨も私の服の中に入ってしまって、私はまた悲しくなってしまいました。その時、いつもの新聞を配るおじさんの声が聞こえました。私は新聞をもらった時、おじさんの雨に濡れた顔に、いつもと同じ暖かい笑顔を見ました。その笑顔は、その毎日見ていて、よく知っている笑顔は、私の心に深く残りました。私はその笑顔にある種の経験したことがない、強いを感じました。

それから、そのしばらくあとで、ある日、私は家に帰って、とても感動しました。カナダに来てから植えた植物に初めて花が咲いたことに気付いたのです。その時、私は急にこの咲いている花とあの新聞のおじさんの笑顔には根気強く生きている力があることを感じました。それは小さな、明るいプライドでした。

新聞を配るおじさんは一生無名で、誰にも覚えられないかもしれません。でも、普通の人たちみたいに、毎日太陽に向かって仕事に行って、夕日を背負って家に帰って、あきらめないで、自分の小さな世界で頑張って生きています。こんな毎日続けている努力は、人類文明が今まで発展した一番強い力です。あの毎日見える暖かい笑顔は、人間の一番大切な財産です。

今、私は相変わらず小さくて、まだ何も変えられません。でも、弱い草ですけど、自分の花が咲く時、大きい力が出せるでしょう。

私は小さな人物です。小さな人物ですが、自信を持って頑張っています。みなさんとおなじように、私も人間の大切な財産を持っている信じていますから。

## 日本人とは何か

Carmen Lum

皆さん、こんにちは。今日は変わっていく世界と日本の関係についてお話ししたいと思います。最近ニュースで日本の政府が永住外国人に地方参政権を付与するかどうかの問題で、日本人とは何かと考えさせられました。永住外国人の状態で、日本で生まれ、ずっと日本に住んでいる人は日本人ですか。それともカナダ生まれで、日本に三年間住んでいて、日本人と結婚し、日本国籍を取得した人も日本人だと思いますか。

やはり、みんなが日本人であるかに関してそれぞれの意見を持っていらっしゃると思いますが、広く認知されている意見としては、日本人とは日本国籍を持っている人なのではないかと思います。ただ、日本国籍だけで、日本人だと呼ぶのは単純すぎると思います。その定義だと、日系やハーフなどの方々は認められないことになるからです。

私にとって、この質問は現状の国際化された世界と繋がっています。世界が国際化されれば、されるほど、国境が不鮮明になります。今日では、日本人という定義に含まれている人が増えているのではないか。今の世界の状況では、人の移動が多くなっていて、人生の中で様々な人と出会う機会も増えました。

一つのいい例は、近年、日本では国際結婚の数が増加してきています。そこで、新しい時代の子供も日本人のアイデンティティーを作っています。この時代の子供は、新しい文化と日本で継承された文化の二つを持っています。そして、この新たな時代の子供達は、日本人という定義もしくは新しい定義のどちらかに含まなくてはなりません。

私が留学していた時に、世界中の友達ができ、よく日本で働きたいとかずっと日本に住みたいなどいろいろ聞かされました。さらに、旅行するたびに、世界のどこにでも日本人がいるということに気がつきました。段々と世界が小さくなってきたと感じました。

元々日本と関係のない人も日本の社会に重大なことを起こしていきます。例えば、少子化や高齢化の原因で、主にインドネシアとフィリピンといった外国から、看護師として日本の労働力に入ってきています。このような状況は日本の将来に対して大きな影響があると思います。そして様々な人が日本に来ることだけではなく、日本人も益々他の国を旅行したり、留学したり、引っ越したりします。一つの国だけでは自立できない時代が来たので、私達は、母国の市民だけではなく、二、三か国の世界の市民になると思います。

何故そういうことを考えなければならないのは、私達が将来の日本の形を作っていく役割になる可能性があるからです。これから世界と共に、日本はどんな国になっていくでしょうか。皆さんと一緒に考えてみませんか。

## アイドルの定義

Erin Paakkonen

皆さん、今日は。エリン・パーセンと申します。私には人気があるアイドルグループがあります。そのグループは「嵐」と言います。嵐は、日本で人気があるジャニーズ・アイドル・グループですがカナダ人の私も大ファンです。友達は私にいつも「どうしてそんなに、嵐が好きなの？」と聞いてきます。でも、理由がたくさんあるので、そういう質問には答えにくいです。できれば、今日私の大好きなグループについて少しだけ話したいと思います。

先ず、嵐は凄く面白いので、嵐のショーを見たり、歌を聞いたりすると、どんな時でも私を楽しくしてくれます。嵐の五人は、テレビのショーでよく科学的な実験をしたり、バカなゲームをしたりします。何時間も嵐の番組を見ながら、私はずっと笑うことがよくあります。楽しい時間だから勉強していると感じませんが日本語で色々な事を見たり、聞いたり、読んだりしているので何か大事な事をしているような気がします。

この五人メンバーは、一人ずつ個性がとても異なりますが仲が良くて、何か意見が違う事柄が生じても、お互いを尊敬し合い、とても思いやりがあります。私は、このメンバー愛がどんなグループでも一番大切な事だと思います。それがなかったら、嵐は一つのトップグループとして十年間も続かなかつかもしれません。

嵐の最大の魅力はやはり音楽です。多くのアイドルのように嵐の音楽は大部分アップビートで、私たちを励ましてくれる歌詞がとても多いです。「時には泣いていいよ。弱いとこ見せても大丈夫」や「まずは自分で踏み出してみて」などの勇気付けてくれる歌詞があり、そういう時に私は元気になって「よし！頑張る！」と思います。その上、悲しい時や苦しい時に嵐の番組を見たり、歌を聞いたりすると、笑顔が戻ってきます。そんな力が私が嵐が一番好きな理由なんです。

このように、色々な影響を嵐から得られましたが、今の私に一番大切な事は、嵐が常に私に笑顔を与えてくれるという事です。私は、これが私のアイドルについての定義だと思っています。カナダにも、日本にも人気があるアイドルグループがたくさんいます。しかし、嵐のように、私がどんな非常事態にいる時でも、私に勇気を与えてくれるグループを知ったのは、初めてでした。だから、私はカナダ人だけ嵐がこんなに好きになりました。

私は普通のファンでは、現在、私の一番大好きなものについて少しだけでも私の理由が分かってくれたら、凄く嬉しいです。今日は、私のスピーチを聞いてくださって、本当にありがとうございました。

## 終点

Yu Chi Chou

皆さん、こんにちは。私はユーチーと申します。最近、部屋を片付けていて、ある写真を見つけました。その写真は昔、台湾で私と家族が出かけた途中で、道の側にあった立派な木に気付いて、都市にもあんなきれいな木があることがめずらしいと思って撮ったものです。この間、台湾にいる母と電話で話したついでに、その木のことを見いたら、ビルを建てるためにその木は五年前に伐られてしまったということでした。悲しみを感じながら、環境の変化に対してさまざまな感情が溢れてくれました。小さい頃、いつも自然に抱かれて生活していましたが、今はそうではありません。どうしてでしょうか。

今と昔を比べると、一番大きな変化は科学技術の進歩だと思います。進歩のおかげで、今の生活は本当に昔より遥かに便利になりました。例えば、最近発表ばかりのアイパッドは携帯とパソコンの機能を兼ね備えているだけでなく、電子書籍をダウンロードできるという新しい機能もあるそうです。進んだテクノロジーでたくさんの商品が開発されるので、人間の未来は明るくて、今よりもっと楽に生活できると言えそうですが、それは一面の見方すぎません。

科学技術の進歩について、色々な問題が起きました。一番大きな問題は自然環境の破壊だと思います。家などを作るために木材が必要なので人間は木を伐採して、多くの森林が消えつつあります。また、人間の需要を満たすために、たくさんの生物は絶滅に瀕しています。かわいい北極ぐまもやがていなくなってしまうと言われています。

去年の8月8日は台湾の父の日で、いつもは家族と共に過ごす楽しい日でしたが、その日に大災害が起こり、たくさんの人が家族を失いました。残酷にも何日も降りつづけた大雨が何千人の命を奪いました。幸い、私の家族はみな無事でしたが、テレビで見た洪水に巻き込まれてしまった人の家族の泣き顔は今でも忘れられません。ある村では住人全員が死んでしまいました。どうしてそんなことが台湾に起ったのだろうかと考えているうちに、私達には文句を言いようがないことだと気付きました。大部分の洪水が止められる森林をわがままに伐採したのは私たち自身だからです。人間の進歩を優先した結果、自分までひどく傷付いたのです。

この間、アバターという話題の映画を見ました。この映画は私欲に走る地球の人間と自然を大事にする衛星パンドラの先住民との戦いを描いたものです。人間はお金を儲けるために、勝手にナヴィという先住民が大切にしている大きな木を伐りました。けれども最後、その戦争で勝ったのはたくさんの先進の武器を持つ人間ではなく、弓矢のような簡単な武器しか持っていないでも、自然の植物や動物などと通じることのできるナヴィでした。実際、今人間は自分が世界で一番強いものだと思っているようですが、よく考えてみれば、その人間を一瞬のうちに飲みこんでしまうのは自然です。自然からの反撃が来るのは時間の問題だけだと思います。このまま、わがままに地球をめちゃくちゃにしながら、テクノロジーを極めたら、どのような終点に着くかという問題を、私達人間は真剣に考えなくてはいけないと思います。大自然は私達が期待するようにそんなに弱くないです。他の動物や生物と地球に共存している私たちがあらためて考えなくてはいけない時が来たと思います。

## 「日本語が上手ですね！」

Kelly Liang

日本語を学んでいる皆さん、日本の方にこう言われたことがありますか。「日本語が上手ですね」と。去年東京に留学していた私も、頻繁にこの言葉を聴きました。最初の頃、「これは長い間日本語を勉強してきた私の努力が、認められてられている証だ」と、私は喜んでいました。しかし、言われる回数が増えるに連れ、「日本語が上手ですね」という言葉に違和感を覚え始めました。なぜ、「ありがとうございます」「よろしくお願ひします」など、どのガイドブックにも載っていそうな言葉を使っただけで、私が褒められるのでしょうか。

共に留学していたある友人に私の戸惑いを話したら、彼は笑いながらこう答えました「日本人が、外国人は日本語ができないと思い込んでいるから、簡単なことにも驚くのでしょうか。」つまり、日本人は外国人を過小評価しているんだと彼は言います。しかし、どこでも英語での会話を求める北米の人々は果たして、日本人より他国人の語学力を正当に評価していると言えるのでしょうか。むしろ、北米人の場合、「英語は世界共通の言語だから、できて当然」という傲慢さに近いものを感じます。

この英語に対するプライドの基を成しているのは、恐らくアメリカなどの大国の影響力だと思います。それに対して、日本という国はそれほど影響力が小さいのでしょうか。影響力が小さくて、日本語を話す外国人に会う度に、日本人が驚異を感じずにはいられないのでしょうか。勿論、これは相手を励まそうとする日本人の優しさだと考えることもできます。しかし、日本人がよく「日本語が上手ですね」と外国人を称えるのは、日本の国力と文化を過小評価しているのではないかと私は思います。

二十世紀後半から、日本は世界で二番目の経済大国として栄えてきました。去年の世界金融危機が、確かに日本の経済を大きく揺さぶりました。しかし、回復しつつある日本の国内外の産業は、依然として世界の経済をリードしています。このような経済大国・日本とのビジネスチャンスを作るべく、日本語を学んでいる人は大勢いるでしょう。そして、無形文化財にも富んだ日本は、能、歌舞伎などのハイアート以外にも、アニメやドラマのようなダイナミックなポップカルチャーを誇っています。これらのサブカルチャーに熱中し、日本語を学び始めた人が、毎年このスピーチコンテストで活躍しています。日本文化がどれほど世界に愛されているのかが見当もつきません。それに、今日の日本の国際政治への影響力に注目している者もいます。平和憲法を守ることや、発展途上国を助けることなど、一大国として相応しい政治展開を待ち望んでる人が、私を含めて、留学生に数多くいました。これですべての日本語爱好者を網羅することができません。数え切れないほどの人に日本が注目されているものですから。

日本の方、「日本語が上手ですね」と言うのをただちに止めるのは難しいことだと分かります。しかし、そう言った後では是非、「なぜ日本語を選んだのですか」と聞いていただきたいと思います。外国人について知ることで、日本という国を再認識することにも繋がるのではないでしょうか。新しく得た認識を基に、世界を大きく左右する日本の一員としての責任を再考したらいかがでしょうか。近所の人たちと勉強会を開いたり、NGO活動に参加したり、国際意識をはぐくむ方法が色々あります。

日本語を勉強している方、今度「日本語が上手ですね」と褒められたら、その時は是非、自分の日本に対する想いを伝えてほしいと思います。言語は、喜びを分かち合い、世界をよりよくするための道具です。その道具をいくつも使いこなせる私たちのできる・すべきことは、「ありがとうございます」、「いいえ、まだまだです」と答えることで終わらないと、信じています。

## 心が通じ合う喜び

Eun-Seon Kim

皆さん、皆さんはいつも使っている言葉から何か喜びを感じますか？私が初めて日本語を習った時には喜びなんてありませんでした。交換留学生として日本に行く前に、簡単な言葉、例えば、“何歳ですか？”をせっかく覚えて行ったのですが、大学のインタビューを受けた時、“おいくつですか？”と聞かれてしまって、答えられなかったのです。外国語を習ってみたことがある方はそのショックをきっと分っていただけるでしょうね。でも、今日、私は皆さんに新しい言葉を学ぶ喜びについて、話したいと思います。

日本でこそしづつ新しい言葉に慣れていたある日、私はよーちゃんに出会いました。彼は駅前にある小さい写真屋さんのおじさんでした。せまくて、一人しか座れない空間なのに、いつもニコニコしながらよーちゃんはそこにいました。私が写真の現像をお願いしに行った時、「一人で大変ですね」と言うと、よーちゃんは「休みもありないけれど、30年近くもここで働いていますよ」と答えました。それから、「退職した後の夢があるから大丈夫です」と言いました。よーちゃんの写真屋さんの近くには大学があったので、留学生や外国人の先生たちがたくさん来ていたようです。それで、世界中にいるその友達にいつか会いに行くのが彼の夢でした。

よーちゃんは人生の道を私より先に歩いてきたので、私に彼の経験や知恵を今も話してくれます。若い時には、心の病気がありましたが、それを克服したこと、夢が叶うまでがまんしたこと、大事な人の病気や死。すべてが、いつか、おそらく、私も経験しなくてはならないことなのです。私が落ち込んでいた時にも、よーちゃんは言ってくれました。「20代は、たくさんの石にぶつかる流れの速い川、40代になると、広い海のような流れに、心もゆっくり、静かになるから、心配しないで」と。

めったに会えないのに、どうして、文化も、考え方も違う50代のおじさんと私にこんな友情がめばえたらどうですか？親子関係だとしても、世代と文化が違うと、通じ合うことは非常に難しいかも知れません。同じ文化や言葉で通じ合う関係でしたら、言葉にしなくとも、なんとなく分かるものがあります。しかし、私は自分が言いたいことを表現するのも、相手が言ったことを理解するのもうまくありませんでした。私は、その時、変な言葉づかいでも話そうと頑張っていましたが、また「どうせ、幼稚な言葉づかいの外国人だと見えるんだろう」とシニカルにとらえていました。でも、彼は、敬語も、文法もあまり合ってない私の言葉の中に、そこにこもっている、私が伝えたい本当の気持ちをよく分かってくれました。よーちゃんは、下手な言葉でも、人と人は通じ合うことができるということを教えてくれたのです。

「星の王子様」にはこんな言葉があります。大事なことは目に見えない。でも、私は、目に見えない心も、言葉なら通じ合うことができると信じています。私が習った言葉はただのサバイバルのための日本語だけではなかったのです。ある日、私が下手な日本語でも話しかけなかつたら、よーちゃんの夢や人生の話を、私は、今もぜんぜん知らないでいたでしょう。よーちゃんは去年の夏、私に会いにパンクバーまで来てくれてとても嬉しかったです。私はこれからも日本語を勉強しつづけ、将来にもたくさんのこんな喜びがあると期待しています。皆さんもこの喜びを感じられるように、完全な日本語でなくても、勇気を出して、自分とは違う人と通じ合う喜びを発見していただきたいと思います。

## 「ソーシャルネットワーキング」について

Elizabeth Sun

皆さん、私は、今日、「ソーシャルネットワーキング」について、その問題点と、それに対する可能な解決法について、お話ししたいと思います。このソーシャルメディアは皆さんにとっても、関心のある話題なのではないかと考え、この題を選びました。

ご存知のように「ソーシャルネットワーキングサイト」は、人と人とのコミュニケーションの輪を広げるためのサイトとして、かなり前から人気があり、若者を始め、主婦、会社員など、様々な人々に利用されています。

ここ数年、日本では Mixi, ここバンクーバーでは Facebook や Twitter という名前のサイトとして、人気があります。その理由は、まず、便利さです。申し込んで、サインインすれば、すぐに友人、同僚、親戚などに連絡することができ、そして、紹介から紹介へと人間関係が広がります。また、パーティーに誘ったり、誘われたり、イベントを短時間で企画したりなどの活動ができます。今まで知らなかつた人々と、楽しく話ができ、友達になり、コミュニケーションの輪が広がっていくのが魅力と言えるでしょう。

しかし、最近では、使用者、つまり、ユーザーが増えるとともに、様々な問題が出てきました。その中の一番大きな問題は、個人情報の流出です。例えば、Facebook の紹介欄には、ユーザーの名前、趣味、学歴、職業など、また電話番号、住所までのっています。プライバシーを守るために、個人情報がどれほど大切なことを、考えずに自分のプロファイルに書き入れる人が多いようです。

ユーザーは、この個人情報が悪用されて、初めてプライバシーの大切さに気付かされるのです。その一番の問題が詐欺です。ユーザーの ID を使われたり、クレジットカード詐欺などです。実は、私の友人も、本人が知らずに、クレジットカード会社から千ドルも請求されました。その支払いを取り消すために、大変手間がかかり、頭が痛かったです。それ以来、友人は、もちろん、私も個人情報に関して、注意するようになりました。

そこで、こうした問題を防ぐための解決方法を考えてみました。まず第一に、犯罪を生み出す原因になる、個人情報の提供をコントロールすることです。このサイトを使う自分の目的に合わせ、必要な情報のみを載せることが大切です。

第二に、法律的な方法も、必要ではないでしょうか。例えば、ユーザーの個人情報の記録を何年も残さず、半年後には消すという、期限を決める法律があれば、情報を盗まれることを減らせるでしょう。

そして、第三は、技術的な方法も効果的だと思います。それは、できるだけネットワーキングサイトのセキュリティを高め、ユーザーの情報を守ることです。以上、私の考えをお話ししました。このような解決方法を通して、便利で楽しい、ソーシャルネットワーキングの輪を、さらに、安全なものにしていく必要があるのではないかでしょうか。皆さん、どのようにお考えでしょうか。

私たちのコミュニケーションの方法は、時代とともに変わっていきますが、私が最後にお伝えしたいこと、それは、なんと言っても、人と人とのコミュニケーションは、相手の姿を見ながら、お互いに心や考えを伝えることではないかと思います。私は、これからも、現在のソーシャルネットワーキングと本来のコミュニケーションとの良いバランスを取りながら、生活していきたいです。今日、私はこのスピーチコンテストにおいて、皆さんと、とても良いコミュニケーションがとれたのではないかと思っています。ありがとうございました。

## 相撲美

Stephen Goobie

皆さん、こんにちは。

今日は皆さんに世界で一番美しいと私が思うことをお話ししようと思います。私が10年もファンであり続ける一種のアート、芸術です。それは相撲です。

今、私が相撲と言って、皆さんが何をイメージしたかなんどなく想像ができます。たとえば、汗ダラダラの裸の男二人が、お互いをリングの上で押し合っている…といったいなにが芸術で、美しいのでしょうか。

さあ、これから私が言うことを想像してください。

今日は初場所最終日、千秋楽です。今、あなたは東京にある両国国技館で、座布団に座って対戦を待っています。周りには今日の最後の試合、結びの一一番を楽しみにしている人達。目の前にはまぶしいライトに照らされた土俵と呼ばれるリングがあり、天井からは神社建築で見られる屋根が釣り下がっています。

行司と呼ばれるレフリーが土俵に上がってきました。鳥帽子に短刀、軍配という扇がきらりと光ります。扇子を持った呼び出しも一緒です。その呼び出しが本日最後の力士たちの名前を言い始めました。

「ひが～し、あけぼの～。に～し、あさしょりゅ～。」

曙が土俵に上がってきました。2メートルの長身、体重は200キロ以上です。曙は相撲の歴史上3番目に大きい力士と言われます。

曙の腰には廻しといわれるふんどしがしっかりと固定しており、足は太い木のようで、揺れる筋肉が体を支えています。

対戦の前には決まった動きをしなくてはいけません。両力士は水で口を清めた後、手のひらほどの塩をつかみ、土俵に撒き散らし、場を清めます。

時間です。朝青龍は廻しをバチンと叩き、曙は歯をギシギシ言わせています。土俵の真ん中で、両力士の目はお互いを捕らえたまま、呼吸のリズムが揃うのを行司は用心深く見つめます。さあ、緊張が高まってきました。あちらこちらからいろいろな応援が飛び交います。「頑張れ、朝青龍！ファイト、曙！」

二匹のバシファローが前へ飛び出して一「はつきよい のこったのこった」 行司の掛け声が聞こえー 両力士の頭がドーン(手をたたく)とぶつかり合いー 曙は朝青龍の廻しに手を伸ばしー 朝青龍はもう土俵際！

「あきらめるな！」

あっという間に、朝青龍が曙のひざをとり、体が傾きました。曙の顔がゆがみます。足取りをする気か？曙の巨体が宙に浮き、「あああ！」そのまま土俵の外に雪崩落ちてしましました。行司の軍配が西を指します。

「わあわあ！」国技館が歓声で揺れます。あちらこちらで座布団がフリスビーのように飛び交う中、朝青龍は曙に一礼した後、厳かに勝利を受け取りました。

さあ、涙をぬぐって、二人を称えましょう！今、目にしたすばらしい光景に笑顔にならずにはいられないでしょう？

たった今、私達はただスポーツを観戦したのではなく、世界一の芸術に立ち会ったのです。

## グローバル市民

Jaeyeon Choi

今年の一月、私たちは2010年を希望で迎えましたが、カリブ海にあるハイチでは、悲劇的なことが起こりました。それは、私たちの記憶に新しい1月12日についたマグニチュード7.0の強い地震でした。

ハイチ史上最悪、壊滅的被害だといわれているその地震は建物だけではなく、人々の人生と心を粉々に壊してしまいました。

しかし、この惨事の中で希望的なのは、今、世界の様々な国際団体や国々がハイチに助けに行き、大地震による混乱から、救い出すために心を一つにして、今でも一生懸命働いていることです。

このように、今の世界では、他の国の人々の苦しさや貧しさに深い同情心をあらわし、まるで自分のことのように助ける人々が増えています。

このような人たちを、私たちはグローバル市民と呼んでいます。グローバル市民というのは、人種、宗教、国籍の壁を乗り越えて、地域と共同社会、そして国際社会の利益を追求しようとする人々のことです。したがって、グローバル市民は起き上がる様々な問題に対して、深い関心を持ち、平和的に解決するように活動します。

実は、私も、高校時代から他の国の人々の困難な状況に深い関心と同情心を持つようになりました。そして、グローバル市民の一人としてユニセフのような国際救護活動に活発に参加し、また、タイで子供の図書館を建設するプロジェクトにも参加しました。さらに、高校時代から今まで、国際問題を平和的に解決する模擬国際連合(MUN)の活動も続けています。

こうした活動の中で、2年前の2008年の夏に、私は、国際NGO団体と一緒に、水がない地域にポンプや、井戸を作るためにアフリカのケニアに行きました。私は、初めてのアフリカの活動に胸を躍らせていました。ところが、そこで、思いがけない大きな危機に直面しました。ナイロビからトルカナに移動するときに、突然、チームの3台の車のうち、一台がハイウェーで転倒したのです。そして、私の目の前で、その車に乗っていた3人が死亡し、4人が重症を負いました。その時、大きなショックを受けた私は、安全な我が家に戻っても、海外活動に対して恐怖と不安を持つようになってしまいました。その事件があつてから一年間、精神的にも弱くなってしまい、私はいつも不安な気持ちで、毎日を過ごすようになりました。

しかし、今。私は、信仰と家族や友達の愛情と助けのおかげで、また元気を取り戻し、グローバル市民としての人生を続けられるようになりました。それは、ケニアの事故で亡くなったチームメンバーの命が尊いように、今、世界の貧しい国々で、亡くなっていく子供たちの命も同じように尊いのだということに気がついたからです。私がグローバル市民としてする活動が、絶望的な状況にいる子供たちに希望のメッセージを伝えられるかもしれないと考えると、何もせずにじーっとはしていられませんでした。

今、私はファーストステップスというNGO団体で働いています。このNGO団体は北朝鮮の約80,000名の子供たちに豆乳のような栄養食品を送っています。体が弱すぎて、笑う力さえなかった子供たちが、今は、サッカーをするまでに健康になったと聞き、大変、うれしく思っています。

今世界に起きている様々な問題は、私たちの生活にも大きな影響を及ぼしています。世界は大きな家族、一つの共同体として、苦しんでいる人々がいれば、国境を越えて助けるというのは、選択ではなく、「必須」と言えるでしょう。限りある個々の力でも、皆で協力すれば、そこに、奇跡が生まれることを私は信じています。皆さん、平和な世界にするために、あきらめず、勇気を持って、共に進んで行きましょう。